

岡山大学は、タバコの煙のない快適な環境を確保し、喫煙による健康被害から学生・職員及び地域住民を守るため、また「学生を非喫煙者で社会に送り出したい」と考え、平成 26 年 4 月 1 日から全キャンパスが敷地内全面禁煙になりました。

### ◎喫煙対策の経過

- 平成 15 年 9 月 「岡山大学における受動喫煙防止の指針」(学長裁定)  
①全面禁煙(建物内)、②喫煙防止教育、③禁煙支援の 3 つの柱
- 平成 16 年 4 月 鹿田(医療系)キャンパスで敷地内全面禁煙
- 平成 22 年 7 月 受動喫煙防止 WG(ワーキンググループ)設置
- 平成 23 年 1 月 // 提言書を提出
- 平成 23 年 7 月 「岡山大学における受動喫煙防止の指針」改定(学長裁定)  
敷地内全面禁煙が打ち出される
- 平成 26 年 4 月 全キャンパス敷地内全面禁煙実施(図 1)

### ◎敷地内全面禁煙になった経緯

平成 22 年に受動喫煙防止 WG(ワーキンググループ)が設置され、学生・職員の喫煙に対する意識と現状を把握するために保健管理センターで健康診断を受診した学生 8,979 名、職員 1,112 名へアンケートが実施されました。その結果、「喫煙場所は守られていると思う」と答えた人は学生、職員とも半数以下でした。職員の 31%は「学内で受動喫煙を感じた」と回答しました。また、同意が得られた職員 506 名にタバコに含まれるニコチンの代謝産物である尿中コチニンの測定を実施すると、非喫煙者の 23%は陽性で 4 人に 1 人はどこかで受動喫煙に曝されていました。さらに敷地内全面禁煙に対しての意見は、学生:賛成 72%, 反対 6%, 職員:賛成 60%, 反対 12%でした。

社会的に受動喫煙対策が推進されているなか、学生の喫煙者の多くが入学後に喫煙を開始している現状を受け、本学でも更なる受動喫煙対策を推し進めるために受動喫煙防止 WG で敷地内全面禁煙が提言されました。そして、平成 23 年 7 月に学長によって全面禁煙が決定されました。

### ◎全面禁煙決定後の活動

喫煙対策 WG が設置され、WG と安全衛生部が中心になって喫煙対策を進めています。

#### ○受動喫煙防止

津島キャンパスでは、建物外 54 ヶ所あった喫煙所を計画的に削減していきました。学内の各学部等と協力して掲示や全面禁煙後は学外も含めた「喫煙対策巡回」を行い、吸い殻拾いなども行っています。

#### ○喫煙防止教育

講演会、講義、入学時オリエンテーション、健康診断、課外活動の会、安全講習会、イベント

など色々な機会を捉えて、喫煙防止教育を行っています。

喫煙対策 WG では、教育教材の開発や効果的な教育をさらに検討しております。

### ○禁煙支援

保健管理センターに「禁煙相談外来」を設置し、職員に対しては医療機関の紹介、喫煙開始間もない学生に対してはニコチンパッチの無料配布など禁煙支援を行っています。

### ○学生との協力した活動 (図2, 図3)

岡山大学生協学生委員会 CCC!の学生と一緒に、世界禁煙デー・春秋の健康企画・大学祭でのイベント、岡山大学タバコ対策推進キャラクター募集、全面禁煙広告ポスター作成、禁煙体験談募集、吸い殻清掃活動など様々な喫煙対策を行っています。

また、学生企画のタバコ対策推進キャラクター募集で入賞した「のんすもうくん」は、喫煙対策を推進する上で活躍をしてくれています。

喫煙対策により喫煙者が減少していくことで、受動喫煙、喫煙による健康被害が減り社会貢献にも繋がっていくため、地道に活動を継続して行きたいと考えています。



図1 全面禁煙看板掲示

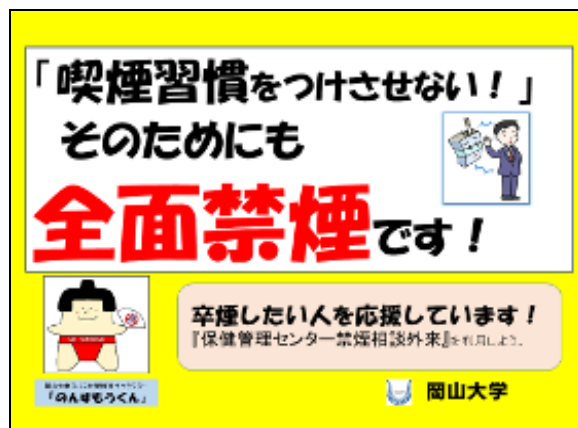


図2 世界禁煙デーにチラシ入りティッシュ配布。「のんすもうくん」活躍



図3 学生と協力して 喫煙対策活動